

1. 序論

日本語の文は；助詞、句、節、などの品詞分類から作られています。品詞分類の中では、補助動詞と言う助動詞があつて、それは「～いる」、「～おく」、「～ある」などに表せて、動詞を付け加えられます。この研究では、補助動詞の「～である」を調べられます。「～である」はいつも他動詞を付け加えられます。富田、田中、市川などによると、「～である」は、「誰かがした行為の結果として残っている状態を表すもの」とか「将来に備えて何かを行う」という意味を持っています。この研究は 描 写 分 析 Descriptive Analysis という方法を使われて、「～である」がある資類の文を調べて；過去形、現在形、未然形、と疑問形に分別したいと思います。この研究の目的は二つある、「～である」にはどんな動詞が付け加えられるのか、また、「～である」は動詞を用いてどんな意味があるのかを調べたいと思います。

2. 本論

この下の「～である」がある例文は調べられたんですが、三分に分別されています：

現在形の動詞に「～である」が付け加える文

1. でも朝廷のかが、聖徳太子のころ比べて強くなつたことが書いてあると、もっといいなと思った。(AS, 33)

「1」の「～である」は‘結果の状態を表す’の意味を持っています。文の話題の‘でも朝廷のかが、聖徳太子のころ比べて強くなったこと’は聞き手の悟性ではなく、話し手の自己的の悟性です。話し手はある目的の為にこの文を使います。他動詞の「書く」は助詞の‘が’に付けて、自動詞文の形式「書いてあります」になって、‘書かれるように前に考えられた’という意味を持っています。

未然形に「～である」が付け加える文

2. あら、教室で食べたり飲んだりしちゃいけないのよ。ちゃんと書いてあるんじゃない。(JFY, 73)

「2」は‘結果の状態を表す’の意味を持って、誰か教室に食べたり飲んだりはいけない禁止を作りました。この文では、生徒は禁止を破って、誰かが生徒に教室に食べたり飲んだりはいけないという禁止を伝えてくれたと言う意味も持っています。つまり、動詞は「～である」を付けて加えるのような、未然形にあります。「2」の「書いてあるじゃない」は‘禁止が書いてあるんじゃない’と言う意味があります。

疑問形に「～ある」が付け加える文

3. 「箆筒のどこへ隠してあった?」(KNK,173)

動詞の「隠す」は他動詞ですから、「～である」に付け加えられます。ぎもんけいの「～である」は‘結果の状態を表す’と言う意味があります。

「3」では誰かの疑問、箆筒のどこへ隠してあった（過去形）の意味も持

っています。過去形の動詞の「隠す」（今の事件）は話し手の悟性で、「隠してあった」は‘隠された’の意味があります。

3. 結論

「～である」が使って文の一般的の意味は‘結果の状態を表す’、‘将来に備えて何かを行う’ではありません。この研究では、「～である」に付け加えられる動詞は意志動詞の他動詞だけと知っています。「～である」も分析された動詞の自動詞の意味を持ってや助詞の‘が’はいつも付け加えられません。

DAFTAR ISI

LEMBAR PENGESAHAN	i
KATA PENGANTAR	ii
DAFTAR ISI	iv
BAB I PENDAHULUAN	
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	7
1.3 Tujuan Penelitian.....	8
1.4 Metode dan Teknik Penelitian.....	8
1.4.1 Metode Penelitian.....	8
1.4.2 Teknik Kajian.....	9
1.5 Organisasi Penulisan.....	10
BAB II KAJIAN TEORI	
2.1 Sintaksis.....	12
2.1.1. Kalimat.....	13
2.1.2. Kalimat Transitif.....	15
2.1.3. Kalimat Intransitif.....	16
2.2 Semantik.....	17
2.3 Verba Intransitif dan Transitif.....	21
2.4 「~である」.....	23

BAB III	ANALISIS 「~である」 DALAM KALIMAT BAHASA JEPANG (KAJIAN SINTAKSIS DAN SEMANTIK)	28
3.1	Bentuk 「~である」 yang terdapat pada kalimat pernyataan yang menunjukkan verba masa sekarang.....	29
3.1.1.	Bentuk 「~である」 yang terdapat pada kalimat pernyataan lampau.....	29
3.2	Bentuk 「~である」 yang terdapat pada kalimat negasi.....	45
3.3	Bentuk 「~である」 yang terdapat pada kalimat tanya.....	46
3.4	Rangkuman Analisa.....	48
BAB IV	KESIMPULAN	51
	SINOPSIS	vi
	LAMPIRAN DATA	x
	DAFTAR PUSTAKA	xxxix
	RIWAYAT HIDUP PENULIS	xlii